

主な取り組み	評価指標	目標		
		2024年度	2027年度	2030年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直播導入の推進による化学肥料施肥量の削減</li> <li>・ 除草時間短縮に寄与する除草剤耐性品種の導入</li> <li>・ 病害抵抗性の高い品種の導入と抵抗性を活用した防除体系の導入</li> <li>・ 不耕起栽培や病虫害に対する遺伝子検診</li> <li>・ センシング防除等の導入</li> </ul>	・ 化学肥料使用量削減率 (2016年度比)	3%	5%	10%
	・ 農薬使用量（費用） 削減率 (2019年度比)	1%	7% (除草剤抵抗性品種・病害抵抗性 品種を作付面積の10%に導入)	10%
	・ 耕起・防除・除草に 関わる投下労働時間削減率 (2019年度比)	3%	8% (除草剤抵抗性品種・病害抵抗性 品種を作付面積の10%に導入に 加え、省力技術の普及)	20%
	・ 栽培における炭酸ガス 直接排出量削減率 (2019年度比)	2%	4% (除草剤抵抗性品種・病害抵抗性 品種を作付面積の10%に導入に 加え、省力技術の普及)	5%